別記様式（第14条関係）

附属機関等会議録

令和６年３月12日

会議の名称	令和５年度　第４回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議
開催日時	令和６年２月29日　14時00分から　15時30分まで
開催場所	島田市役所　大会議室　東
会議の議題	１　開会 ２　説明及び意見交換 ・令和６年度の実施事業について ・本会議のあり方などについて ３　閉会
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	公開　・　非公開（　全部　・　一部　）
会議の全部又は一部の非公開の理由	公開
公開の場合の傍聴人の数	３人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	まず人材確保・人材育成について、令和６年度実施事業決定のため、前回までの議論を踏まえて見直した事業候補案を５つ事務局から示した。最終的には、まず「資料３：高校生の就職実態調査」及び「資料５：親子で会社見学」の２つに取り組むこととし、その他の事業についても検討していくこととした。 実施事業に係る委員の発言（意見や質問等：●）と事務局の発言（回答等：→）は以下のとおり <u>＜資料３：高校生の就職実態調査について＞</u> ●教員訪問の時期ですが、求人票公開日を考慮すると先生方は大変忙しい時期と予想されるので、事前に確認をとった方がよいと思う。

	→先生方の予定を確認しながら実施していく。 ●アンケートはどういった形式を予定しているか。ＤＸ社会なので、ペーパーレスではどうか。 →資料中、「郵便＋LoGoフォーム(電子申請サービス)」と示しているが、対象が若者であることやご意見を踏まえながら、LoGoフォームのみにするなどの方向性は今後考えていく。 ●進路指導の先生方にアンケートをとるという認識か。 →高校生から聴取した意見を先生方に集約していただこうと考えている。 <u>【資料５：親子で企業見学について】</u> ●５社ほど見学するとの説明だが、１日かけて実施する予定なのか。５社の場合、昼をはさむことも想定されるが回りきれるのか。 →１日かけて実施していきたい。現時点では、５社としているが、賛同企業の数によって変えていきたい。 ●実施は土曜日・日曜日になるのか →夏休みの平日を考えている。 ●同様の取組として商工会議所が開催する現場見学会が挙げられますが、今回のように親子がターゲットの場合、親は働いているので土日の方がいいと思う。中学生のみ、親のみといった特別コースや平日開催も視野に入れてはどうか。 <u>人材確保・育成については以上</u> ＜次頁あり＞

	本会議が５年目となり、一層の充実を図るため、本会議のあり方などについて自由に意見交換した。 発言（●）とそれに関連する意見等（→）は以下のとおり （本会議について） ●会議での意見を聞いていると、市へのお願いや市に対する意見が多いという印象を持った。島田市中小企業・小規模企業振興基本条例の第５条から第10条までに規定される役割を、委員一人ひとりという意味でなくそれぞれの組織で果たしていけばいいと思う。 ●このような会議がない自治体もある。最終的にまち全体が活性化すれば、中小企業・小規模企業も活性化すると思うので、そのために何が必要かの視点で会議を進めていくのもいいと思う。 ●大企業として会議に参加しているが、自社以外の状況をそれほど把握していない。この会議に出席するにあたって、事前に情報交換できるような大企業同士の横のつながりがあれば、もう少しこの場で役に立てるのではないかと思う。 →市では、大規模食品工場の皆さまに年１回ではあるが、集まってもらっている。初めて横のつながりができたと喜びの声をいただき、出席率も高い。企業同士の横のつながりは大切だと認識しているので、この会議で取り組んでいくのがふさわしいかも含めて、今後考えていければと思っている。 →大企業の存在で成り立つ企業もあると思うので、中小企業・小規模企業とは離れてしまうが、食品製造業に限らず広げられればいいかもしれない。 →大企業だけにせず、そこに中小企業・小規模企業が入って話し合いをするのもいいかもしれない。 （事業承継について） ●様々な現場でベテランの職人がいない、後継者が

	いないという話は聞く。 ●近くに後継者がいない場合でも、誰かが承継してくれるようなネットワークがあるといい。 ●事業承継は、金融機関や産業支援センターも関与しながら取り組んでいるものだが、そのように第３者が関与していても難しいと聞く。また、後継者がいるといないとでは設備投資等のモチベーションにも差があると聞く。 （商店街・まちなかについて） ●駅前にあまり人がいない印象がある。廃業や閉店の話を聞く。 →現在の商店街を見てわかるように、店舗が減少してきている。商店街連合会組織も厳しい状況に置かれており、県内にある他の連合会では、再編成か解散かの決断で結局解散したものもある。今年度まで雇用の話をしてきたが、商店街には人を雇う余裕のある店は少ない。地域をなんとかしたいという気持ちを持つ方もいるが、個店の力では厳しいと感じている。まずは、会社や店、地域そのものを活性化させる方法を考えなければいけない。昔の活気を取り戻したいというのが現状。 ●閉店した店も含めて、大抵は店舗兼住宅だと思っている。店舗部分のみ借りることは難しいのか。 →商店街の空き家問題として、物件が店舗兼住宅だったことから、水回りがすべて住居部分にあり、店舗用に設備を整えなければならない。そのような使いにくさは問題としてある。 ●近隣自治体にも同様の課題がある。この会議の取組として、成功事例（商店街）の視察や情報収集するのもいいと思う。 ●夏まつりや産業まつりの開催時は、どこに人がいたのかと思うほど賑わう。そこに近づけるためにどうすればいいかを考えなければならない。

	（その他） ●企業も人も長く島田にいてもらい、定住して子育てをしてもらうことなど総合的に考えなければいけないと感じている。 →この５年間、子育て世代の転入率は高い。その方たちが将来にわたって島田に住み、働き、消費することをどう結び付けるのかは課題だと思う。 最後に、人材確保・人材育成に係る次年度の実施事業を再確認した。今後詳細を詰めて、実施結果などを報告しながら進めていくこととした。 また、会議のあり方等についての意見を踏まえながら、次年度の会議を運営していくこととして閉会した。
提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部　商工課
その他必要な事項	